

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

ファッション造形基礎		冊数	1冊
発行者の略称・ 教科書の番号	実教705		

## 2 学習指導要領における教科・科目の目標等

### 【家庭の目標】

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 【ファッション造形基礎の目標】

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ファッションの造形を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 衣服の構成、衣服材料の種類や特徴、衣服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 衣服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 衣生活の充実向上を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 【ファッション造形基礎の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
目標に示す資質・能力を身に付けることができるよう、次の〔指導項目〕を指導する。 [指導項目] (1) 衣服の構成 ア 人体と衣服 イ 立体構成と平面構成  (2) 衣服材料 ア 衣服材料の特徴と性能 イ 用途に応じた衣服材料の選択  (3) 洋服製作の基礎 ア 採寸 イ 型紙の基本 ウ デザインと材料の選択 エ 裁断 オ 仮縫いと補正 カ 縫製 キ 仕上げ ク 着装	(1) 内容を取り扱う際には、次の事項に配慮するものとする。 ア [指導項目]の(3)及び(4)については、生徒の実態や学科の特色に応じて、いずれかを選択して扱うことができること。  (2) 内容の範囲や程度については、次の事項に配慮するものとする。 ア [指導項目]の(1)のアについては、人体構造と衣服の関係性、人体を覆う衣服の形、動作に適応した衣服のゆるみなどを扱うこと。イについては、立体構成と平面構成の特徴を扱うこと。 イ [指導項目]の(2)のアについては、繊維、糸及び布を中心に扱い、新素材や特殊素材についても触れること。 ウ [指導項目]の(3)及び(4)については、資源や環境に配慮した材料の扱い方についても触れること。

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
(4) 和服製作の基礎 ア 和服の構成と名称 イ 材料の選択 ウ 寸法の見積りと裁断 エ 縫製 オ 仕上げ カ 着装	

### 3 教科書の調査研究

#### (1) 内容

##### ア 調査研究の総括表

調査項目		対象の根拠（目標等との関連）
a	単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	学習指導要領第3章第5節第3款1
b	生活産業に関わる内容	学習指導要領第3章第5節第3款2
	その他の項目（各教科共通）	学習指導要領、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

##### イ 調査項目の具体的な内容

###### ① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

###### a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）

- ・ 各単元において、どのような資質・能力を育成できるか見取る

###### b 生活産業に関わる内容

- ・ 各単元において、生活産業に関わる内容を見取る

《その他の項目》（各教科共通）

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重
- ・ 人権課題
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック、パラリンピックの扱い
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

###### ② 調査対象事項を設定した理由等

###### a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）

- ・ 学習指導要領の中に、「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成について」言及されているため、ファッション造形基礎では、各単元における資質・能力をどのように育成できるかという視点で質的に調査する。

###### b 生活産業に関わる内容

- ・ 学習指導要領では、自分の考え方や情報を的確に伝えたり、まとめたりする活動、創造的に製作する場面において、与えられたテーマに対して互いの考えを伝え合い、イメージをまとめ適切に表現する活動など言語活動の充実を図ることが求められているため、生活産業に関わる項目・題材について調査する。

《その他の項目》（各教科共通）

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。

る。

- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

## (2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

教科名	家庭
科目名	ファッション造形基礎

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	実教
教科書番号	家庭705◆
教科書名	ファッション造形基礎
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【衣服の構成】	・巻頭の「平面構成と立体構成の衣服」の項目で、構造の違いによる特徴とメリット・デメリットについて考える事例紹介が設けられている。諸外国の民族衣装を通して、平面構成と立体構成の違いを考えることにより、理解が深まるよう工夫されている。
【衣服材料】	・「衣服素材の性能と選択」の単元で、実験が設けられている。例えば、布地の種類と吸水性や寸法変化の実験を通して、繊維の種類による衣服の素材の性能について考察し、どのような用途に適しているか考えることにより、発展的な学習ができるよう工夫されている。
【洋服製作の基礎】	・「洋服の製作」の単元で、スカートやブラウス等の製作をとおして、関連する技術を身に付けることのできる題材が設けられている。特に様々なアレンジや別の製作工程を通して、多種類のスカートやワンピースへの展開等の発展的な学習ができるような構成になっている。
【和服製作の基礎】	・「和服の製作」の単元で、長着や簡単な和服の製作を通して、関連する技術を身に付けることのできる題材が設けられている。特にかけえりやくりこし揚げのない場合のしるしつけとわきのしまつの方法、筒そでの縫い方では、別の製作工程を示すよう工夫されている。
b 生活産業に関わる内容	
【衣服の構成】	・「衣服の構成」の単元で、服の一生と関わる人々を紹介する事例が設けられている。特に綿を採取する人、布地を染める人の服との関わり方が理解できるよう工夫されている。
【衣服材料】	・「衣服の素材」の単元で、服の一生と関わる人々を紹介する事例が設けられている。特にデザインを考える人（デザイナー）の服との関わり方が理解できるよう工夫されている。 ・「衣服の素材」の単元で、新しい機能性素材や環境への負荷が少ない衣服素材の事例が設けられており、特にリサイクルの推進、無駄のない生産を通してファッション造形と関わるよう工夫されている。
【洋服製作の基礎】	・「洋服の製作」の単元で、服の一生とかかわる人々を紹介する事例が設けられている。特にパターン（型紙）をつくる人（パタンナー）の服との関わり方が理解できるよう工夫されている。 ・「洋服の製作」の単元で、流行と既製の大量生産・販売等、アパレル産業の関わりについて取り上げている。
【和服製作の基礎】	・「和服の製作」の単元で、服の一生とかかわる人々を紹介する事例が設けられている。特に和裁技能士の服との関わり方が理解できるよう工夫されている。 ・「和服の製作」の単元で、アップサイクルの事例が設けられており、特に不用品に新しいアイデアを加えることで価値の高いものに生まれ変わらせるサステイナブル（持続可能なものづくり）を取り上げている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・日本の伝統染色衣装 ・裂織 ・手芸染色 ・日本の伝統色・柄の種類
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるようURL及び二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・見やすいユニバーサルデザインフォントが採用されている。